

平成24年4月2日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長 前 田 康 吉

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成24年3月27日付け滝議第191号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

建設部長	大 平 正 一
建設部技監	高 瀬 慎二郎
建設部土木課長	深 瀬 文 彦
建設部土木課副主幹	芦 澤 博
建設部土木課副主幹	尾 崎 敦
建設部土木課副主幹	千 葉 一 稔
建設部土木課主査	近 藤 誕 樹
建設部土木課主任技師	遠 藤 友樹弘
建設部土木課都市計画室長	千 葉 豊

(総務部総務課総務グループ)

第12回 経済建設常任委員会

H24. 4 . 4 (水)13:30～
第 三 委 員 会 室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

○ 休憩～4月1日付け人事異動に伴う職員紹介

1. 所管からの報告事項について

《建設部》

（1）専決処分について

（資料）土 木 課

（2）滝川市道路特定事業計画について

（資料） 〃

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第12回 経済建設常任委員会

H24. 4. 4 (水) 13 : 30～

第 三 委 員 会 室

開 会 13 : 30

委員 長 それでは、第12回経済建設常任委員会を開会いたします。

委員長あいさつ

委員 長 まず、委員長あいさつですけれども、あすの朝にかけて大変強い風が来る予定になっておりますので、その対策を皆さんしていただいて、所管の方はいませんけれども、市民に災害がないような対応を迅速にお願いしたいと思います。

委員動静報告

委員 長 委員動静ですけれども、委員は全員出席です。議長並びに委員外議員として清水議員、木下議員。

傍聴、北海道新聞、プレス空知、柴田議員の傍聴を許可いたします。

それでは、休憩いたします。ここで4月1日付人事異動に伴う職員の紹介をいたします。

休 憩 13 : 31

再 開 13 : 38

委員 長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

1. 所管からの報告事項について

委員 長 建設部より（1）、専決処分について説明を求めます。

（1）専決処分について

深瀬課長 （別紙資料に基づき説明する。）

委員 長 説明が終わりました。

冒頭所管からあったように臨時議会の議案関連となっておりますので、ご注意ください。

質疑ございますか。

窪 之 内 議案ですけれども、過失割合については明らかにできるのであれば、合意した割合について伺いたいと思います。

深瀬課長 過失の割合でございますけれども、私ども一般的に相手方の過失割合はゼロということは通常考えてございません。しかしながら、相手方の代理者である保険会社のほうで10・ゼロという提案がございました。私どもとしては、現場で実際に走行実験なんかをしまして、これは相手方にも過失を認めてもらわなければ、今後のこともございますので、ということで交渉してまいったところでございます。最終的には1対9ということで、市の側が9割、相手方が1割という内容で示談になったところでございます。

以上です。

委員 長 ほかにございますか。

（なしの声あり）

委員 長 それでは、報告済みといたします。

（2）、滝川市道路特定事業計画について説明を求めます。

（2）滝川市道路特定事業計画について

尾崎副主幹 （別紙資料に基づき説明する。）

委員 長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

窪之内 計画策定して届け出た結果、これらの事業を行う上で何か有利な補助金とか、有利な起債とかということが考えられるのかどうかについて伺いたいと思います。

尾崎副主幹 国のほうに計画書を提出いたします。ただ、事業を行うに当たりまして、やはりこのバリアフリー基本構想というものが策定をされていますと、交付金ですね、今社会資本整備総合交付金の概算要望をするときに優先的に北海道のほうで配分をしていただけるということになっておりまして、どちらかという、交付金事業ということで採択をされやすいということになっております。

委員長 よろしいですか。

窪之内 はい。

委員長 ほかに質疑ございますか。

三上 この事業が完了する28年、29年ですか、総事業費というのはどのぐらいを見積もっているのか伺いたいと思います。

(何事か言う声あり)

委員長 わかりませんか。

(何事か言う声あり)

委員長 調べに行く。

(「資料を……」と言う声あり)

委員長 休憩します。

休 憩 13:48
再 開 13:49

委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

窪之内 ちゃんと見ていないので、もしかしたら書いてあるのかもしれないのですが、事業の優先順位、これらの優先順位についての考え方や年度計画、何年度から何年度まではここというようなことがもし書かれているのであれば何ページというふうに言っていいただければいいのですけれども、計画はのっているということで突然補正予算がばんと出てくることがないように、今のうちに聞いておきたいということでの質問です。

尾崎副主幹 優先順位ということでございますけれども、まず鈴蘭通り線が一番最初に行うということでございまして、資料の7ページの下ほどに書いてございますけれども、平成24年度から着手をいたしまして、27年度完成ということでございます。続きまして、官庁通につきましては平成27年度着工で、平成30年度完成、材木通り線につきましては平成26年度着工で、完了が28年度、13ページでございます。それから、栄通り線につきましては15ページに書いていますが、平成27年着手しまして、完了は29年度ということでございます。優先順位といいいますか、まずベルロード、鈴蘭通りをやっていきますが、あと駅前広場の事業の絡みもございまして、鈴蘭通りを行っていきますが、栄通りにつきましても駅前広場の事業の進捗に合わせながらできるところからやっていきたいと考えております。

以上です。

委員長 よろしいですか。

窪之内 はい。

委員長 ほかに質疑ございますか。

小 野 これ改善方法を全部見ますと、インターロッキング全部廃止して排水性舗装になると書いてあります。例えばことしみたいな雪があったときに異常に凍結する、排水性があるから凍結はそんなにならないと思いますが、例えばつるつるとか、そういうようなのは若干どこか視察したとか、そういう状況は見られたのですか。

尾崎副主幹 透水性、排水性舗装につきましては、昨年の末なのですが、市立病院のちょうど労金側の路線ですけれども、排水性舗装を一部施工してまして、そこで冬の間どういう状況になるかという観察をしております、凍結によるつるつる路面という発生は今のところないということで、冬の安全性に問題ないというふうに認識をしております。

委 員 長 よろしいですか。
ほかに委員の方ありませんか。
(なしの声あり)

委 員 長 それでは、委員外議員、ありますか。内容は、何々についてだけでいいです。
清水委員外議員 ベルロードのまちづくりとの整合性について。
委 員 長 今委員外議員から質疑の申し入れがありましたけれども、許可をしてよろしいですか。
(異議なしの声あり)

委 員 長 それでは、2分間でお願いいたします。
清水委員外議員 ベルロードについては、歩道の幅員が3.5メートルということで現状と変わらないというふうに思うのですが、従来からいわゆる駐車禁止でない駐車帯というのですか、そういったものを設けて買い物しやすいようにというような要望もいろんなところでも僕も聞いていました。ただ実態としてはあそこのアーケードの幅がちょうどあそこの歩道に合っているとかいうこともあると思うのですが、結局ここをきちっと整備してしまうことで将来的にアーケードを老朽化したときに見直すとかいうことが生じたときに、しかしもうここはバリアフリー整備したので、もう歩道は未来永劫これだというようなことにもなると思うのですが、そのあたりの駐車帯要望、アーケード、それと今回の計画の整合性について伺います。

尾崎副主幹 この通りにつきまして、確かに車道が若干狭目だという話がございますが、経済部のほうに確認したところ、商店街のほうもアーケードを今のところ廃止する予定が全くないということでございまして、そこも含めて車道も含めてという改築も検討したのですが、アーケードを撤去するという意思がないままに進めるということはできませんので、今の道路幅員というか、道路断面の中で改築をするということが一番経済的であるという結論に至っております。
以上です。

委 員 長 ほかにございますか。
(「委員長、済みません」と言う声あり)

委 員 長 先ほどの。失礼しました。
近藤主査 土木課主査の近藤でございます。
先ほど三上委員からご質問ありました道路特定事業計画の全体事業費でござい
ますが、総体事業費で4億3,000万円を予定しております。ただ、詳細設計を組み
ましてこの事業費に圧縮する予定でございまして、おおむねの予定として
は4億3,000万円を見込んでおります。

委員長
三上

近藤主査

委員長
三上
委員長

委員長

委員長

委員長

委員長

委員長

三上委員、よろしいですか。

4億3,000万円、それから補助とかいろんな形で出てくるのだと思うのですけれども、この何割ぐらいが交付金とか補助金になったりするのでしょうか。

ただいまのご質問に答えさせていただきます。

現在の社会資本整備総合交付金におきましては、この特定事業計画の補助率としましては2分の1でございます。つまり50パーセントが一応交付金に充当される予定でございます。

よろしいですか。

ありがとうございます。

ほかにございますか。

(なしの声あり)

それでは、(2)は報告済みといたします。ご苦労さまでした。

2. その他について

大きな2番、その他について事務局から何かございますか。ありませんか。

(なしの声あり)

委員の皆さんから何かありますか。

(なしの声あり)

3. 次回委員会の日程について

それでは、3、次回委員会の日程については正副委員長にご一任願えますか。

(異議なしの声あり)

以上をもちまして第12回経済建設常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

閉 会 13:58